

平成 29 年度  
門川町地域経済動向調査  
～ 上半期 ～  
報告書

平成 29 年 8 月

門川町商工会

# 目次

I	調査概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査対象	1
3.	調査項目	1
4.	調査方法	1
5.	調査期間	1
6.	回収結果	1
7.	調査実施機関	1
8.	注意事項	1
II	回答企業の概要	2
1.	業種	2
2.	組織形態	3
3.	資本金	3
4.	代表者年齢	4
5.	売上高	4
6.	営業利益	5
7.	従業員数	5
8.	後継者の有無	6
III	調査結果	7
1.	業況について	7
問 1:	平成 29 年 1 月～6 月の事業所現況（前年同期比）	7
問 2:	顧客から評価されていると思うこと	10
2.	販路開拓等について	11
問 3:	販路開拓等の取組み状況	11
問 4:	販路開拓等に際しての課題等	12
問 5:	販路開拓等に関する支援制度等の活用希望	13
問 6:	希望する支援策	14
3.	経営上の課題について	15
問 7:	現在直面している経営上の課題	15
問 8:	具体的な課題内容	16
問 9:	商工会からの支援について、支援を希望する分野	17
問 10:	ご意見、ご要望等	17
IV	調査票	18

# I 調査概要

## 1. 調査目的

門川町内の業種景況調査を実施し、小規模事業者の経営上の課題の抽出、経営分析や事業計画の策定・目標設定、計画実施の算定基礎資料として活用する。

## 2. 調査対象

東臼杵郡門川町内の事業者

## 3. 調査項目

- 企業概要について
- 業況について
- 販路開拓等について
- 経営上の課題について

## 4. 調査方法

ヒアリング調査

## 5. 調査期間

平成 29 年 7 月 19 日～平成 29 年 8 月 1 日

## 6. 回収結果

調査対象	62 件
有効回答件数	52 件
有効回答率	83.9%

## 7. 調査実施機関

門川町商工会

(回答結果の集計、分析等については、(株)東京商工リサーチに委託した)

## 8. 注意事項

- 集計は、有効回答 52 件を対象としている。
- D I 値を算出する設問は無回答を除いて集計し、その他の各設問は無回答を含めて集計している。
- 図表中の構成比率は、小数点第 2 位以下を四捨五入している。
- 図表中の「N」とは回答件数の総数のことで、100%が何件の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- 単一回答のグラフについては、帯グラフとすることで視覚化を図り、一目で全体集計の結果と業種別の結果を比較できるよう表示している。
- 回答が 2 つ以上ありうる（複数回答）場合、合計が 100%を超えることがある。また、グラフ、および集計表については、回答が多い順に並べ替えている。クロス集計の結果については、集計表を参照されたい。

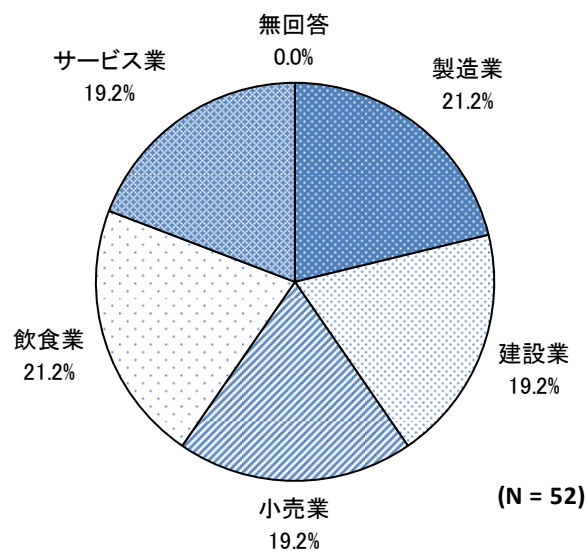
ファイブユー・ジョーン インテックス  
D I (Diffusion Indexの略)

D I (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものである。

## Ⅱ 回答企業の概要

### 1. 業種

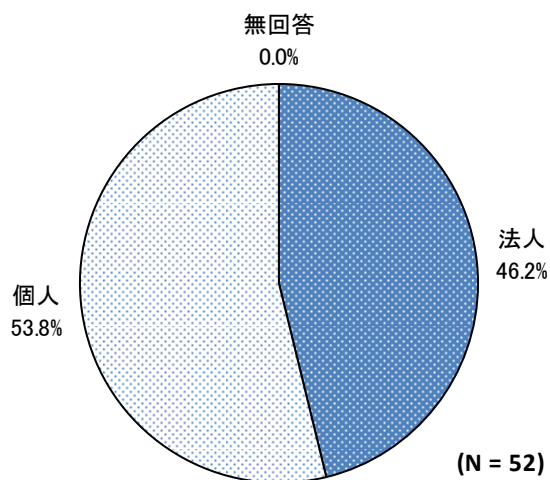
「製造業」、および「飲食業」が 21.2%、「建設業」、「小売業」、「サービス業」が 19.2% となっている。



業種	回収数	構成比
製造業	11 件	21.2%
建設業	10 件	19.2%
小売業	10 件	19.2%
飲食業	11 件	21.2%
サービス業	10 件	19.2%
合計	52 件	100.0%

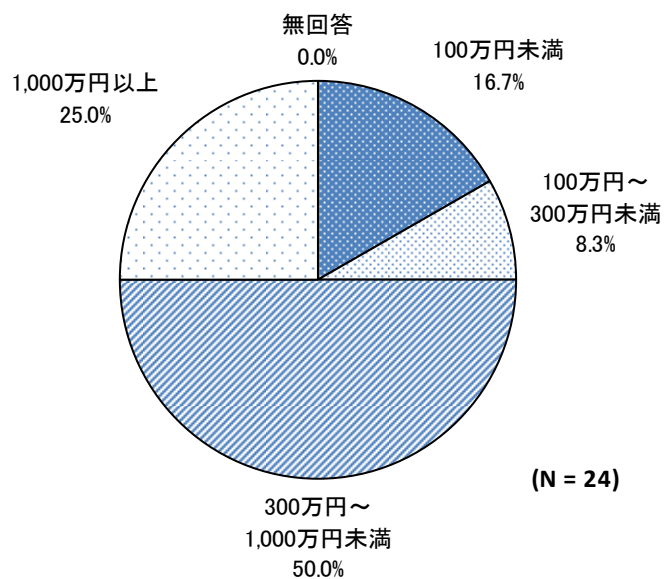
## 2. 組織形態

「法人」が46.2%、「個人」が53.8%となっている。



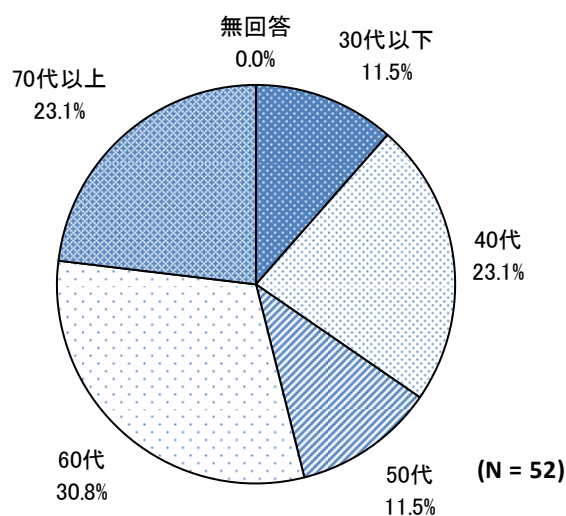
## 3. 資本金（法人のみ）

「300万円～1,000万円未満」が50.0%と最も高く、次いで「1,000万円以上」が25.0%、「100万円未満」が16.7%となっている。



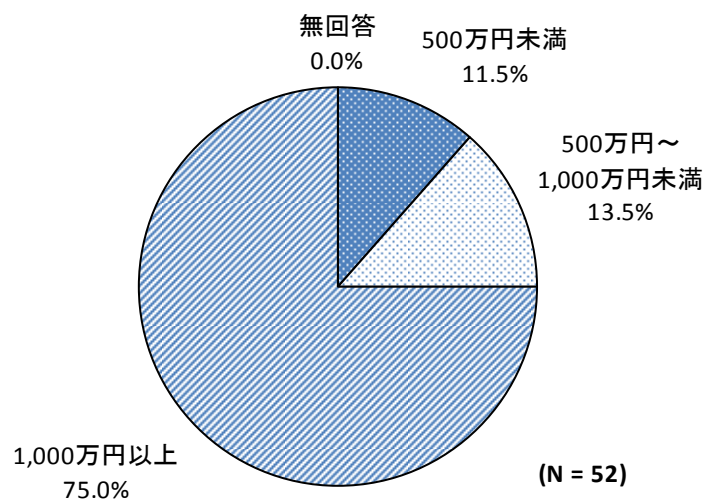
#### 4. 代表者年齢

「60代」が30.8%と最も高く、次いで「40代」、および「70代以上」がともに23.1%となっている。



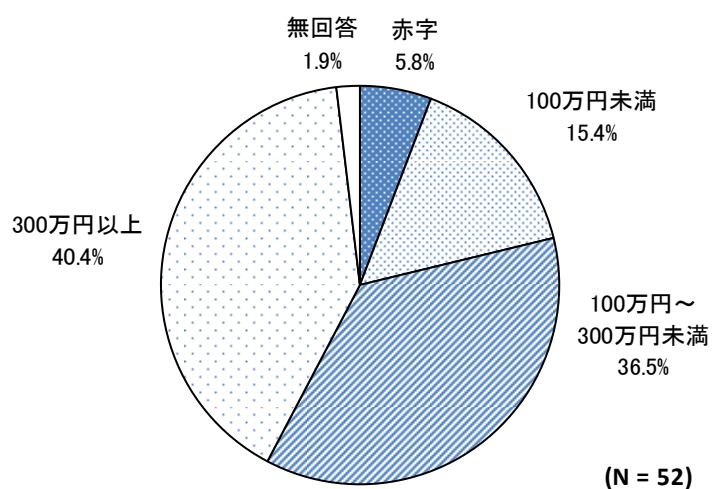
#### 5. 売上高

「1,000万円以上」が75.0%と最も高く、次いで「500万円～1,000万円未満」が13.5%、「500万円未満」が11.5%となっている。



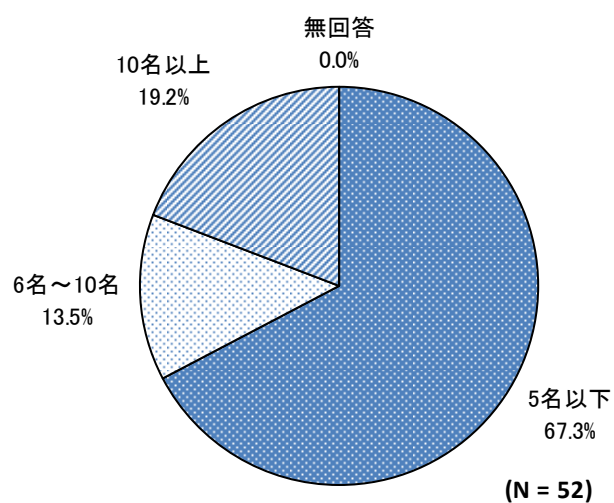
## 6. 営業利益

「300万円以上」が40.4%と最も高く、次いで「100万円～300万円未満」が36.5%、「100万円未満」が15.4%となっている。



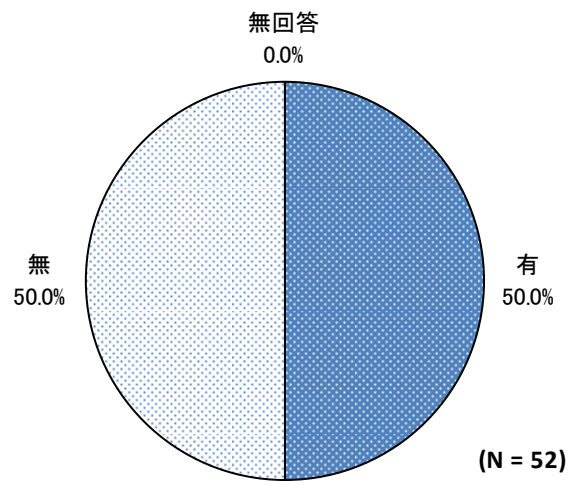
## 7. 従業員数

「5名以下」が67.3%と最も高く、次いで「10名以上」が19.2%、「6名～10名」が13.5%となっている。



## 8. 後継者の有無

「有」、「無」ともに 50.0%となっている。





### Ⅲ 調査結果

#### 1. 業況について

##### 問 1：平成 29 年 1 月～6 月の事業所現況（前年同期比）

###### (1) 業況

**DI 値は全体ではプラス**

**業種別では、製造業が 27.3、小売業が▲20.0、その他の業種は 0.0 となった**

全体の今期（平成 29 年 1 月～6 月）の業況 DI（業況が「好転」とした企業割合-「悪化」とした企業割合）は 2.0 となった。業種別の業況 DI をみると、＜製造業＞は 27.3、＜建設業＞は 0.0、＜小売業＞は▲20.0、＜飲食業＞、＜サービス業＞はともに 0.0 となっている。

		(%)				DI
		N	好転	不変	悪化	
全 体		52	21.2	59.6	19.2	2.0
業 種	製造業	11	36.4	54.5	9.1	27.3
	建設業	10	20.0	60.0	20.0	0.0
	小売業	10	10.0	60.0	30.0	▲ 20.0
	飲食業	11	18.2	63.6	18.2	0.0
	サービス業	10	20.0	60.0	20.0	0.0

###### (2) 売上高

**DI 値は全体ではプラス**

**業種別では、小売業、製造業、建設業がプラス、サービス業がマイナスとなった**

全体の今期（平成 29 年 1 月～6 月）の売上高 DI（売上高が「増加」とした企業割合-「減少」とした企業割合）は 5.7 となった。業種別の売上高 DI をみると、＜製造業＞は 18.2、＜建設業＞は 10.0、＜小売業＞は 20.0、＜飲食業＞は 0.0、＜サービス業＞は▲20.0 となっている。

		(%)				DI
		N	増加	不変	減少	
全 体		52	28.8	48.1	23.1	5.7
業 種	製造業	11	36.4	45.5	18.2	18.2
	建設業	10	40.0	30.0	30.0	10.0
	小売業	10	30.0	60.0	10.0	20.0
	飲食業	11	27.3	45.5	27.3	0.0
	サービス業	10	10.0	60.0	30.0	▲ 20.0

(3) 営業利益

**DI値は全体ではプラス**

**業種別では、建設業、製造業がプラス、サービス業、飲食業がマイナスとなった**

全体の今期（平成 29 年 1 月～6 月）の営業利益DI（営業利益が「増加」とした企業割合-「減少」とした企業割合）は 1.9 となった。業種別の営業利益DIをみると、<製造業>は 9.1、<建設業>は 20.0、<小売業>は 0.0、<飲食業>は▲9.1、<サービス業>は▲10.0 となっている。

		(%)				DI
		N	増加	不変	減少	
全 体		52	26.9	48.1	25.0	1.9
業 種	製造業	11	27.3	54.5	18.2	9.1
	建設業	10	50.0	20.0	30.0	20.0
	小売業	10	20.0	60.0	20.0	0.0
	飲食業	11	18.2	54.5	27.3	▲ 9.1
	サービス業	10	20.0	50.0	30.0	▲ 10.0

(4) 従業員数

**DI値は全体ではマイナス**

**業種別では、製造業がプラス、建設業、飲食業、小売業がマイナスとなった**

全体の今期（平成 29 年 1 月～6 月）の従業員数DI（従業員数が「増加」とした企業割合-「減少」とした企業割合）は▲5.9 となった。業種別の従業員数DIをみると、<製造業>は 20.0、<建設業>は▲20.0、<小売業>は▲10.0、<飲食業>は▲18.2、<サービス業>は 0.0 となっている。

		(%)				DI
		N	増加	不変	減少	
全 体		51	5.9	82.4	11.8	▲ 5.9
業 種	製造業	10	20.0	80.0	0.0	20.0
	建設業	10	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0
	小売業	10	0.0	90.0	10.0	▲ 10.0
	飲食業	11	9.1	63.6	27.3	▲ 18.2
	サービス業	10	0.0	100.0	0.0	0.0

(5) 資金繰り

**DI値は全体ではマイナス**

**業種別では、建設業、製造業がプラス、サービス業、飲食業がマイナスとなった**

全体の今期（平成 29 年 1 月～6 月）の資金繰りDI（資金繰りが「好転」とした企業割合-「悪化」とした企業割合）は▲3.9 となった。業種別の資金繰りDIをみると、＜製造業＞は 9.1、＜建設業＞は 10.0、＜小売業＞は 0.0、＜飲食業＞は▲18.2、＜サービス業＞は▲20.0 となっている。

		(%)				
		N	好転	不変	悪化	DI
全 体		52	9.6	76.9	13.5	▲ 3.9
業 種	製造業	11	18.2	72.7	9.1	9.1
	建設業	10	10.0	90.0	0.0	10.0
	小売業	10	10.0	80.0	10.0	0.0
	飲食業	11	9.1	63.6	27.3	▲ 18.2
	サービス業	10	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0

(6) 設備投資計画額

**DI値は全体ではプラス**

**業種別では、飲食業、小売業、製造業がプラス、サービス業、建設業がマイナスとなった**

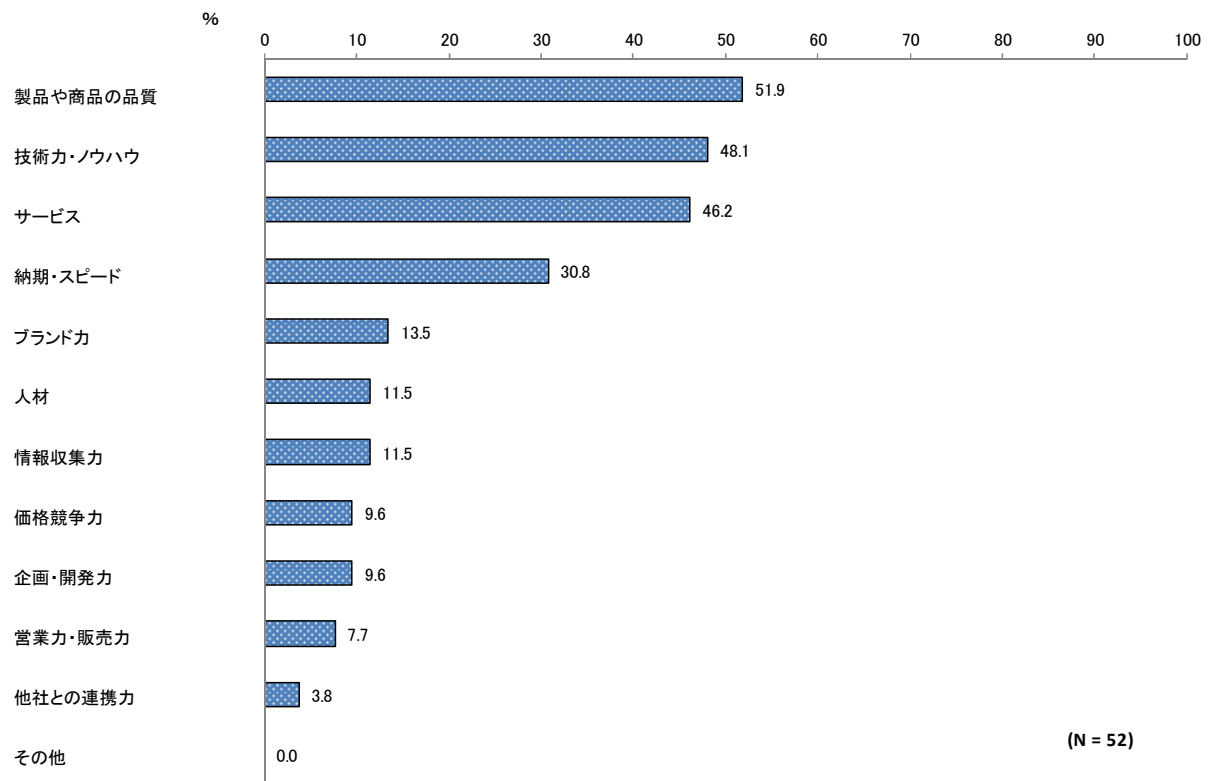
全体の今期（平成 29 年 1 月～6 月）の設備投資計画額DI（設備投資計画額が「増加」とした企業割合-「減少」とした企業割合）は 9.6 となった。業種別の設備投資計画額DIをみると、＜製造業＞は 18.2、＜建設業＞は▲10.0、＜小売業＞は 20.0、＜飲食業＞は 36.4、＜サービス業＞は▲20.0 となっている。

		(%)				
		N	増加	不変	減少	DI
全 体		52	25.0	59.6	15.4	9.6
業 種	製造業	11	36.4	45.5	18.2	18.2
	建設業	10	10.0	70.0	20.0	▲ 10.0
	小売業	10	30.0	60.0	10.0	20.0
	飲食業	11	36.4	63.6	0.0	36.4
	サービス業	10	10.0	60.0	30.0	▲ 20.0

## 問 2：顧客から評価されていると思うこと

全体では、「製品や商品の品質」が51.9%と最も高く、次いで「技術力・ノウハウ」が48.1%、「サービス」が46.2%となっている。

業種別にみると、「製品や商品の品質」は<製造業>、<飲食業>がともに7割超と特に高い一方で、<建設業>が1割と極端に低くなっている。「技術力・ノウハウ」は<建設業>が9割と極端に高い一方で、<飲食業>は回答なしとなっている。



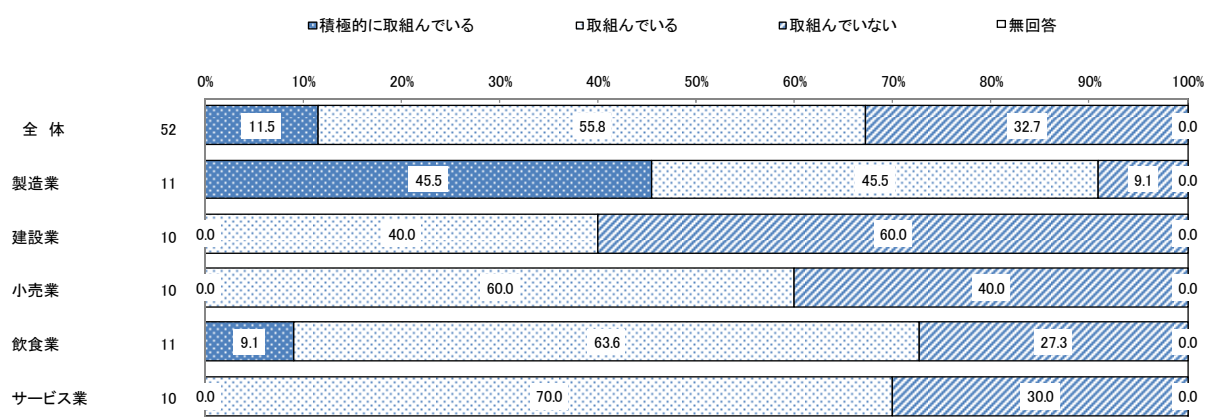
		(件・%)												
	N	製品や商品の品質	技術力・ノウハウ	サービス	納期・スピード	ブランド力	人材	情報収集力	価格競争力	企画・開発力	営業力・販売力	他社との連携力	その他	
全体	52	27 51.9	25 48.1	24 46.2	16 30.8	7 13.5	6 11.5	6 11.5	5 9.6	5 9.6	4 7.7	2 3.8	-	
業種	製造業	11 81.8	9 36.4	4 36.4	6 54.5	2 18.2	1 9.1	3 27.3	3 27.3	5 45.5	1 9.1	1 9.1	-	
	建設業	10 10.0	1 10.0	9 90.0	3 30.0	4 40.0	1 10.0	1 10.0	-	-	-	1 10.0	-	
	小売業	10 60.0	6 60.0	5 50.0	6 60.0	1 10.0	2 20.0	-	1 10.0	2 20.0	-	1 10.0	1 10.0	
	飲食業	11 72.7	8 72.7	-	5 45.5	3 27.3	2 18.2	2 18.2	-	-	-	1 9.1	-	
	サービス業	10 30.0	3 30.0	7 70.0	6 60.0	2 20.0	-	2 20.0	2 20.0	-	-	-	-	

## 2. 販路開拓等について

### 問3：販路開拓等の取組み状況

全体では、「積極的に取組んでいる」が11.5%、「取組んでいる」が55.8%と、『取組んでいる』が合わせて7割弱となっている。一方、「取組んでいない」は32.7%となっている。

業種別にみると、「積極的に取組んでいる」は<製造業>で5割弱と極端に高くなっているが、その他の業種では、<飲食業>で1割弱となった以外は、回答なしとなっている。一方、「取組んでいない」は<建設業>で6割と特に高くなっている。



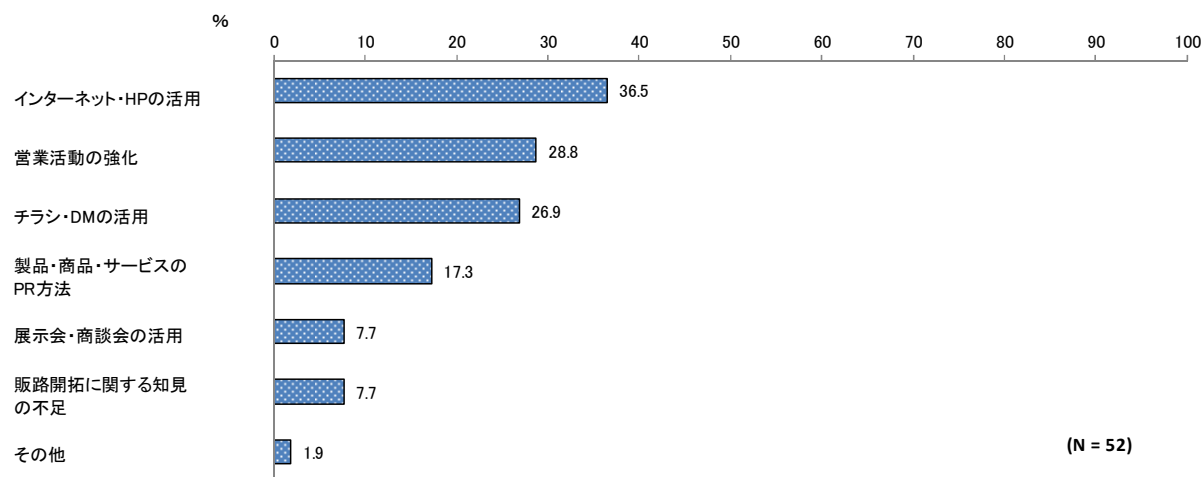
(件・%)

		N	積極的に取組んでいる	取組んでいる	取組んでいない	無回答
全体		52	6	29	17	-
		100.0	11.5	55.8	32.7	-
業種	製造業	11	5	5	1	-
		100.0	45.5	45.5	9.1	-
	建設業	10	-	4	6	-
		100.0	-	40.0	60.0	-
	小売業	10	-	6	4	-
		100.0	-	60.0	40.0	-
飲食業	11	1	7	3	-	
	100.0	9.1	63.6	27.3	-	
サービス業	10	-	7	3	-	
	100.0	-	70.0	30.0	-	

## 問 4：販路開拓等に際しての課題等

全体では、「インターネット・HPの活用」が36.5%と最も高く、次いで「営業活動の強化」が28.8%、「チラシ・DMの活用」が26.9%となっている。

業種別にみると、「インターネット・HPの活用」は<建設業>が5割と比較的高くなっている。「営業活動の強化」は<建設業>が7割と極端に高い一方で、<製造業>は1割弱と特に低くなっている。

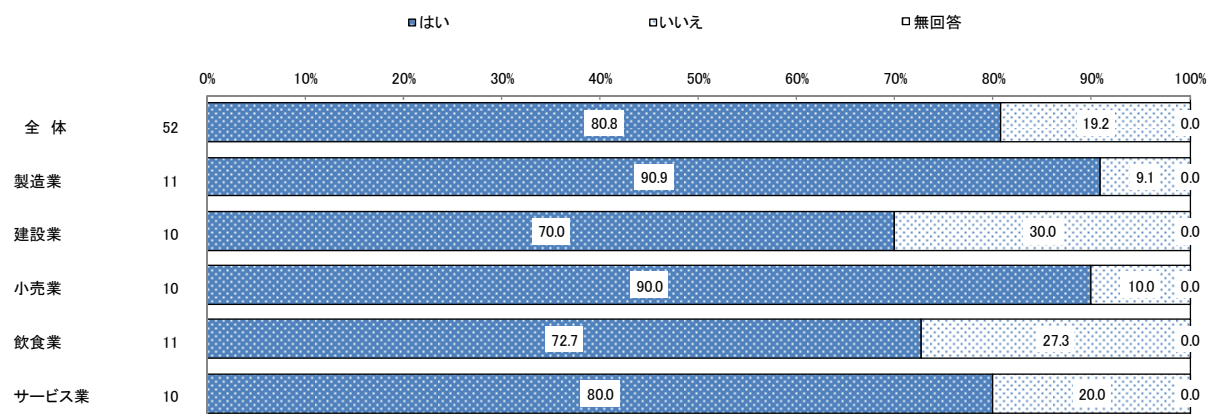


		(件・%)							
		N	インターネット・HPの活用	営業活動の強化	チラシ・DMの活用	製品・商品・サービスのPR方法	展示会・商談会の活用	販路開拓に関する知見の不足	その他
全体		52	19 36.5	15 28.8	14 26.9	9 17.3	4 7.7	4 7.7	1 1.9
業種	製造業	11	4 36.4	1 9.1	2 18.2	3 27.3	3 27.3	-	1 9.1
	建設業	10	5 50.0	7 70.0	2 20.0	-	-	1 10.0	-
	小売業	10	2 20.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	-	1 10.0	-
	飲食業	11	5 45.5	3 27.3	4 36.4	2 18.2	-	1 9.1	-
	サービス業	10	3 30.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	-

## 問 5：販路開拓等に関する支援制度等の活用希望

全体では、「はい」が80.8%と8割超となっている。一方、「いいえ」は19.2%となっている。

業種別にみると、〈製造業〉、〈小売業〉は「はい」が9割以上と比較的高くなっている。一方、〈建設業〉、〈飲食業〉では「いいえ」が3割程度と比較的高くなっている。



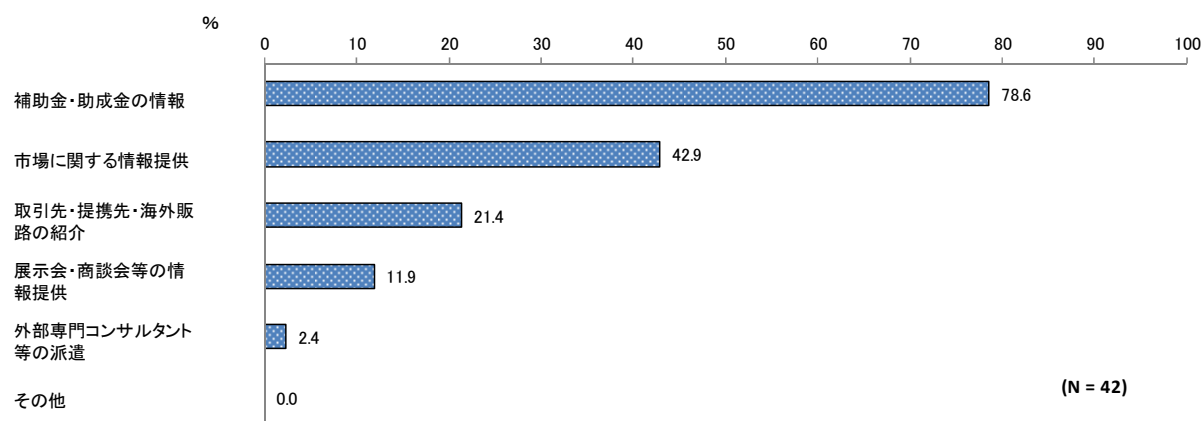
(件・%)

		N	はい	いいえ	無回答
全体		52	42	10	-
		100.0	80.8	19.2	-
業種	製造業	11	10	1	-
		100.0	90.9	9.1	-
	建設業	10	7	3	-
		100.0	70.0	30.0	-
	小売業	10	9	1	-
		100.0	90.0	10.0	-
飲食業	11	8	3	-	
	100.0	72.7	27.3	-	
サービス業	10	8	2	-	
	100.0	80.0	20.0	-	

## 問6：希望する支援策（問5で「はい」と回答した事業所のみ）

全体では、「補助金・助成金の情報」が78.6%と最も高く、次いで「市場に関する情報提供」が42.9%、「取引先・提携先・海外販路の紹介」が21.4%となっている。

業種別にみると、「補助金・助成金の情報」は＜建設業＞が10割、＜製造業＞が9割と比較的高い一方で、＜サービス業＞は4割弱と特に低くなっている。「市場に関する情報提供」は＜建設業＞、＜飲食業＞がともに半数以上となった一方で、＜サービス業＞、＜小売業＞は4割弱と比較的低くなっている。



(件・%)

	N	補助金・助成金の情報	市場に関する情報提供	取引先・提携先・海外販路の紹介	展示会・商談会等の情報提供	外部専門コンサルタント等の派遣	その他
全体	42	33 78.6	18 42.9	9 21.4	5 11.9	1 2.4	-
業種	製造業	10 90.0	4 40.0	4 40.0	4 40.0	-	-
	建設業	7 100.0	4 57.1	-	-	-	-
	小売業	9 77.8	3 33.3	1 11.1	-	-	-
	飲食業	8 87.5	4 50.0	2 25.0	-	1 12.5	-
	サービス業	8 37.5	3 37.5	2 25.0	1 12.5	-	-

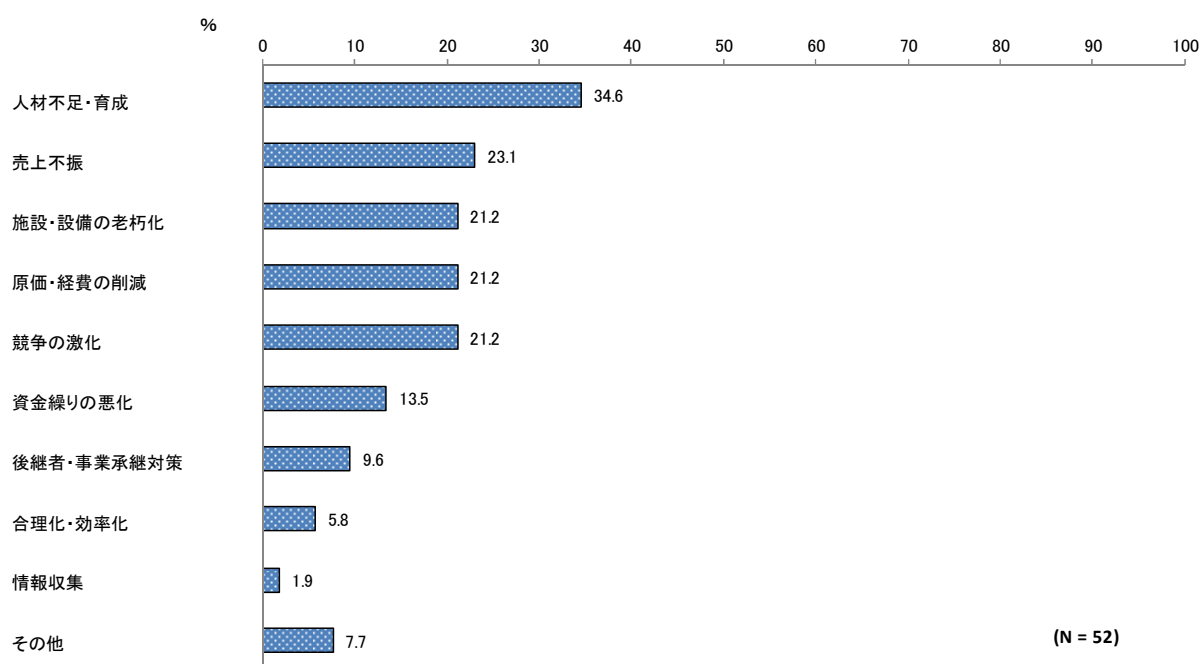


### 3. 経営上の課題について

#### 問7：現在直面している経営上の課題

全体では、「人材不足・育成」が34.6%と最も高く、「売上不振」が23.1%と続き、「施設・設備の老朽化」、「原価・経費の削減」、「競争の激化」がいずれも21.2%となっている。

業種別にみると、「人材不足・育成」は＜建設業＞が半数と比較的高い一方で、＜小売業＞は1割と特に低くなっている。「売上不振」は＜小売業＞がともに4割と比較的高くなった一方で、＜建設業＞、＜サービス業＞はともに1割と比較的低くなっている。



		(件・%)											
		N	人材不足・育成	売上不振	施設・設備の老朽化	原価・経費の削減	競争の激化	資金繰りの悪化	後継者・事業承継対策	合理化・効率化	情報収集	その他	
全体		52	18 34.6	12 23.1	11 21.2	11 21.2	11 21.2	7 13.5	5 9.6	3 5.8	1 1.9	4 7.7	
業種	製造業	11	5 45.5	3 27.3	5 45.5	3 27.3	3 27.3	2 18.2	1 9.1	1 9.1	-	-	
	建設業	10	5 50.0	1 10.0	-	2 20.0	5 50.0	2 20.0	2 20.0	-	-	1 10.0	
	小売業	10	1 10.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	-	1 10.0	-	2 20.0	
	飲食業	11	4 36.4	3 27.3	1 9.1	3 27.3	1 9.1	1 9.1	2 18.2	-	-	-	
	サービス業		10	3 30.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	-	1 10.0	1 10.0	1 10.0

## 問 8：具体的な課題内容（問 7 でいずれかに回答した事業所のみ）

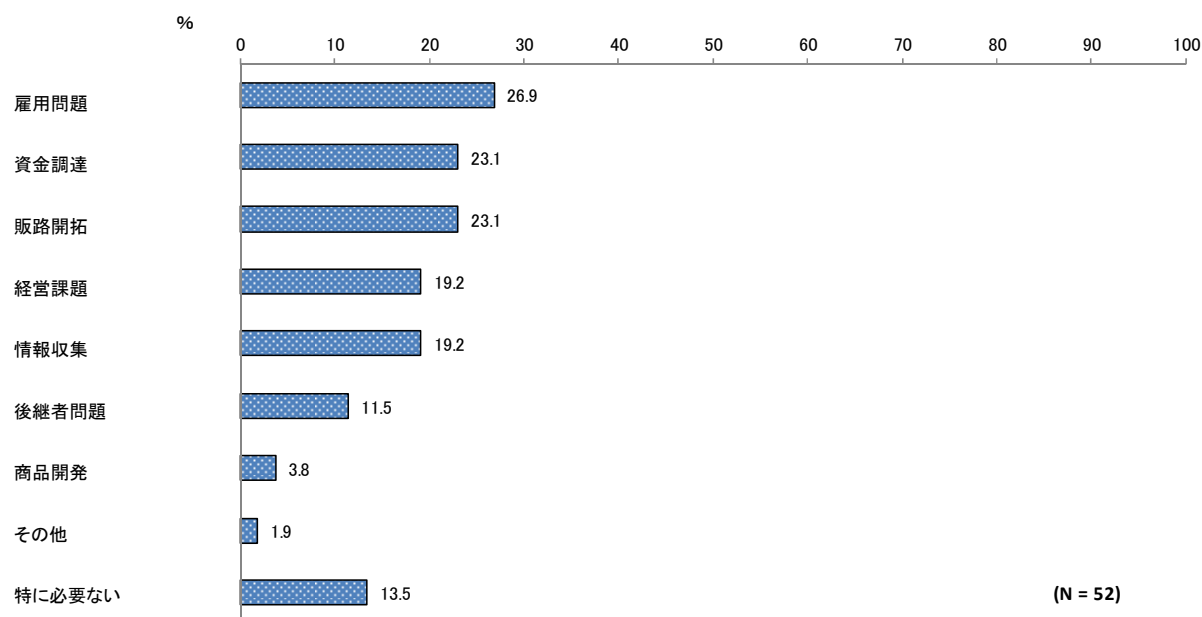
回答内容は以下の通り。

若い人がすぐ辞める。
外装、内装のリフォーム、器具などの整備。
とにかく周知。
大手スーパー等の乱立により価格差、少子化、人口減少（対象人口）が痛手ではあるが、当店は立地条件が他店（同業種）より有利差があるので、サービス、技術面で対抗していく。原価変動を販売価格に転嫁しにくい所がある。
ディスカウント店との価格差が店にひびいている。
経営、経理について学びたい。新しいこれからの展開についてアイデアを頂きたい。
仕入の金額を減らして、原価率を良くする。最近、忙しくなってきたので、一人では不安。
調理士の募集はしているが人材がない。
仕事量（パソコンが普及し個人でちょっとした物は作っている）。代金の競争。
魚料理ばなれによる売上減少と従業員の高齢化。
原材料費がどんどん高くなった、出店料も。
社員の高齢化。若手の製造業離れ。工場能力が受注量に対応出来ない。
生産体制の強化の為、中古の鶏舎を取得し原料の生産キャパを広げたいと考えている。鶏舎の管理体制を均一にする為、増員して複数での作業軽減をはかる。
工場の老朽化。
冷凍機の老朽化。
若手が欲しい。単価の叩き合いに入りたくない。
競合他社が減っていて、チャンスはあるが、後継者がいない。
ハローワークに求人を出しても人が集まらない。また、入社してもすぐに辞めてしまう。
若手雇用、育成について。社員のコスト意識改革について等。
販売業が3年後激減する予測を立てている。しかし、それを補っていく事業の創出が進んでいない。実行力に難がある。
後継者がいない。公共工事が減少し、売上げが下がっている。
経費の削減が思うようにいかない。
新規採用などしているのですが、仕事を覚える前に（2～3年）で辞めてしまう。

## 問 9：商工会からの支援について、支援を希望する分野

全体では、「雇用問題」が 26.9%と最も高く、次いで「資金調達」、「販路開拓」がともに 23.1%となっている。

業種別にみると、「雇用問題」は＜建設業＞が 6 割と極端に高い一方で、＜サービス業＞は回答なしとなっている。「資金調達」は＜サービス業＞が 4 割と比較的高くなった一方で、＜小売業＞は 1 割と比較的低くなっている。「販路開拓」は＜製造業＞が 6 割超と極端に高くなった一方で、＜建設業＞は回答なしとなり、＜飲食業＞は 1 割弱と比較的低くなっている。



		(件・%)									
		N	雇用問題	資金調達	販路開拓	経営課題	情報収集	後継者問題	商品開発	その他	特に必要ない
全 体		52	14 26.9	12 23.1	12 23.1	10 19.2	10 19.2	6 11.5	2 3.8	1 1.9	7 13.5
業 種	製造業	11	4 36.4	3 27.3	7 63.6	3 27.3	3 27.3	1 9.1	2 18.2	-	1 9.1
	建設業	10	6 60.0	2 20.0	-	1 10.0	2 20.0	4 40.0	-	-	1 10.0
	小売業	10	1 10.0	1 10.0	2 20.0	3 30.0	3 30.0	-	-	1 10.0	1 10.0
	飲食業	11	3 27.3	2 18.2	1 9.1	2 18.2	-	1 9.1	-	-	1 9.1
	サービス業	10	-	4 40.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	-	-	-	3 30.0

## 問 10：ご意見、ご要望等

回答内容は以下の通り。

経営全般でお世話になります。
次回の経営者セミナー宜しくお願いします。
商工会はなくてはなりませんね。
ホームページの活用。

# IV 調査票

## 経営事項全般に関するアンケート調査票

※以下の設問に関しまして、該当する番号に「○」を付けてください。

■ 貴事業所の概要についてご回答ください。

業種：製造業

事業所名					
所在地					
記入担当者	所属				
	氏名				
	電話番号				
組織	1. 法人 (資本金 千円)	2. 個人	代表者年齢	(歳)	
売上高	(千円)	営業利益	(千円)	従業員数	(人)
後継者の有無	1. 有	2. 無	(予定者名： 関係・続柄： )		

### 1. 業況について

問 1. 下記項目につきまして、平成 29 年 1 月～6 月の貴事業所現況（前年同期比）についてご回答ください。  
（それぞれ○は 1 つ）

各項目	選択肢		
業況	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
売上高	1. 増加	2. 不変	3. 減少
営業利益	1. 増加	2. 不変	3. 減少
従業員数	1. 増加	2. 不変	3. 減少
資金繰り	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
設備投資計画額	1. 増加	2. 不変	3. 減少

問 2. 貴事業所が顧客から評価されていると思うことについてご回答ください。（複数回答可）

1. 製品や商品の品質	2. 技術力・ノウハウ	3. 納期・スピード
4. サービス	5. 人材	6. 価格競争力
7. 営業力・販売力	8. 企画・開発力	9. 情報収集力
10. ブランド力	11. 他社との連携力	12. その他 ( )

### 2. 販路開拓等について

問 3. 貴社では、販路開拓等に取り組んでいますか。（○は 1 つ）

1. 積極的に取り組んでいる	2. 取り組んでいる	3. 取り組んでいない
----------------	------------	-------------

問 4. 販路開拓等に際しての課題等があればご回答ください。（複数回答可）

1. インターネット・HP の活用	2. チラシ・DM の活用	3. 展示会・商談会の活用
4. 営業活動の強化	5. 製品・商品・サービスの PR 方法	6. 販路開拓に関する知見の不足
7. その他 ( )		

問 5. 販路開拓等に関する支援制度等があれば活用したいですか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 6. 問 5 で「1. はい」と回答した方にお尋ねします。どのような支援策を望みますか。(複数回答可)

1. 市場に関する情報提供	2. 展示会・商談会等の情報提供
3. 取引先・提携先・海外販路の紹介	4. 補助金・助成金の情報
5. 外部専門コンサルタント等の派遣	6. その他 ( )

### 3. 経営上の課題について

問 7. 現在直面している経営上の課題があればご回答ください。(複数回答可)

1. 売上不振	2. 施設・設備の老朽化	3. 原価・経費の削減	4. 資金繰りの悪化
5. 人材不足・育成	6. 後継者・事業承継対策	7. 情報収集	8. 競争の激化
9. 合理化・効率化	10. その他 ( )		

問 8. 問 7 でいずれかに回答した方にお尋ねします。具体的な課題内容についてご回答ください。

--

問 9. 商工会からの支援についてお伺いします。どのような分野の支援を希望しますか。(複数回答可)

1. 資金調達	2. 雇用問題	3. 販路開拓
4. 商品開発	5. 経営課題	6. 情報収集
7. 後継者問題	8. 特に必要ない	9. その他 ( )

問 10. その他、ご意見、ご要望等がございましたらご回答ください。

--

～アンケートは以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました～

お手数ですが、このアンケート用紙を **7月21日(金)** までに回収に伺いますので、ご記入お願い致します。

TEL番号 0982-63-1512

FAX番号 0982-63-0432

【門川町商工会 担当：     】